

ページ	質問議員	質問事項
9	大沢 淳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども・子育て新制度実施に向けて</li> <li>●小規模企業振興基本法を生かして地域経済の活性化を</li> <li>●無線山緑のトラスト保全活動の発展を</li> <li>●小針中の生徒増の現状と対策</li> </ul>
10	中原敦子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子供の貧困対策の推進に向けて</li> <li>●充実した子育て支援をめざして</li> </ul>
10	上野克也	<ul style="list-style-type: none"> <li>●まち・ひと・しごと地方創生長期ビジョンについて</li> <li>●防災対策について</li> </ul>
11	毛塚真一	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域経済の活性化対策について</li> <li>●避難訓練について</li> </ul>
11	奥田とみ子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●膨らむ医療費、削減するには</li> <li>●地域包括ケアシステムの進捗状況</li> </ul>
12	上野尚徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町の活性化、買い物弱者対策のため、町がコーディネーターとなる商店、飲食店、企業等の誘致を</li> <li>●防災無線での情報発信について</li> <li>●シティープロモーションについて</li> <li>●伊奈町の消防力の現状について</li> </ul>
12	水上邦雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護保険制度要支援「訪問介護」「通所介護」について</li> <li>●介護報酬の引き下げと職員の処遇改善について</li> <li>●施設利用と利用料について</li> <li>●障がい者介護保険優先について</li> <li>●低所得者の介護保険料引き下げを</li> <li>●後期高齢者医療制度について</li> <li>●小中学校のトイレのリニューアル・洋式化を</li> </ul>
13	村山正弘	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地方創生と伊奈町の位置づけ</li> <li>●まち・ひと・しごと創生法とまちづくり</li> </ul>



## 8人が登壇

3月定例議会は8人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。なお、会議中の発言と答弁は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(5月下旬掲載)



### 認可保育所の増で希望者すべての入所を



おおさわ じゅん  
大沢 淳 議員

**問** 保育所の増設を。内宿駅東側に定員90名の認可保育所が開所する。中央保育所の代替として定員110名の私立保育園を整備する。つくしんぼ保育園が定員40名

**答** 認可保育所へ移行するための整備をおこなう。新しい保育料は少なくとも現状維持を。現状と同じになるよう配慮したい。階層区分を1区分増やした。

**問** 小規模保育の補助金。  
**答** 国の示す価格にもとづき、各市町村から給付を受ける。「家庭保育室保護者助成金」は利用者負担額が認可保育所と同額になるためなくなる。  
**無線山緑のトラスト**  
**問** 事業内容は。  
**答** 計画どおり用地を取得した。整備計画を策定するため、検討委員会を開催した。27年度は整備工事を実施し、ボランティアの募集をおこなう。



新しい認可保育所

#### 小針中の生徒増対策

**問** 教室不足の対策。  
**答** 平成30年度から不足するため29年度までに増設工事を完了させる。  
**問** 不足している施設、設備への対応。  
**答** 教室の増設と合わせトイレ、水道について適切に対応したい。

子どもの貧困対策の  
推進に向けて



なかはらあつこ  
**中原敦子** 議員

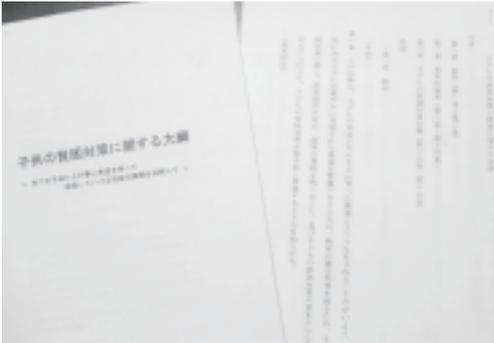
子どもの貧困対策の推進  
に向けて

**問** 学校生活の中で見えてくる貧困状況は、把握可能か。

**答** 学校においては、学級担任や教科担任が授業中の見届けをしており、養護教諭・栄養教諭・事務職員などは、学級担任

とは違った立場で子どもたちを見守り、言動や所作、服装、持ち物など気になる場合は管理職に報告し、教職員が情報を共有しているが、貧困状況の把握については困難である。

**問** スクールソーシャルワーカーの配置により、



全ての子ども達が、その生まれた環境に左右されることなく、自分の将来に希望を持って、望める社会にしていきたいものです

**問** ベビー用品のリサイクルと貸出で保護者の経済的負担の軽減を。

充実した子育て支援を  
目指して

**答** ニーズがどれだけあるかなど、慎重に検討していく。

福祉関連機関との連携がはかれ、子どもと親への支援の充実が図れる。スクールソーシャルワーカー配置の考えは。

**答** 現在、教育センターに1名配置されているが、学校が抱える教育相談や不登校児童生徒に対する支援を行っている。「子どもの貧困対策」のスクールソーシャルワーカーの配置については、今後、国や県の動向を注視していく。

まち・ひと・しごと地方創生  
長期ビジョンについて



うえのたこくや  
**上野克也** 議員

**問** 市町村に、2015年度までに地域の実情を踏まえた「地方版総合戦略」の策定が努力義務として課されている。

この地方創生のカギは、地方が自立につながるよう、地域の資源を生かし、責任を持って戦略を推進

できるかどうかといえる。

**答** 策定は、「地方版総合戦略策定事業」として、人口動態などを踏まえ、産業構造や雇用の現状及び将来見通しに係る調査分析を行い有識者会議等の推進組織を設置し、効果的・効率的に推進する。



「救急医療情報キット」

**問** 伊奈町の一般住宅の耐震化の進捗は。

**答** 町では、大規模な地震による建築物の倒壊に備え、平成22年に伊奈町建築物耐震改修促進計画を策定し耐震化を進めている。平成25年時点の町の住宅耐震化は81%となっている。

**問** 「救急医療情報キット」の推進状況と配布の拡大は。

**答** 配布対象者は、原則75歳以上の高齢者のみで世帯の方、要介護3から5の方、並びに障害者手帳所持者の方である。なお、日中単身になる高齢者など災害時に支援を必要とするような方にも希望により配布している。

地域経済の活性化対策について



毛塚眞一 議員

**問** 町の活性化とこの地域の方々に寄り添った基盤整備について。

**答** 「みどりと歴史・文化ゾーン」として自然や歴史・文化との関わりを深め、地域の方々と連携しながら、都市機能が共存するまち作りを目指し

ます。

**問** 地域の未来を切り開く力となる知的財産の活用について。

**答** 特許の相談窓口や知的財産に関する専門家派遣事業を実施している、公益財団法人埼玉県産業



農作物の洗浄状況

振興公社と連携を図る。

**問** アイデアの集積が、町の将来の価値を高める町民アイデアバンクの創設について。

**答** 現在運用している「町政へのご意見箱」・「町長への手紙」の制度を利用し、ご意見・ご提案の対応に努めたい。

**問** 消費者に農産物の産地消の推進と農地の守り手になっていただくファームマイレージ運動について。

**答** 産地消と農地の保全をあわせて推進する事業である。先進的な取り組みであるので、広がりの具合を見極めながら研究する。

膨らむ医療費、削減するには



奥田とみ子 議員

**問** 少子高齢化が進む中、医療費は毎年膨らみ続けている。後発医薬品のジェネリック医薬品を普及することは、先発医薬品の新薬に比べ、値段が3割から5割安くなる。有効性や安全性も確認されている。国は、平成30年3月までにジェネリック

医薬品の数量シェアを、60%以上にする目標を掲げている。今、普及に向け取り組む自治体が多くなっているが、伊奈町の普及率の現状と、ジェネリックに変えた場合の節約効果はどのくらいあるのか。現行の周知方法に薬代が安くなる情報を明

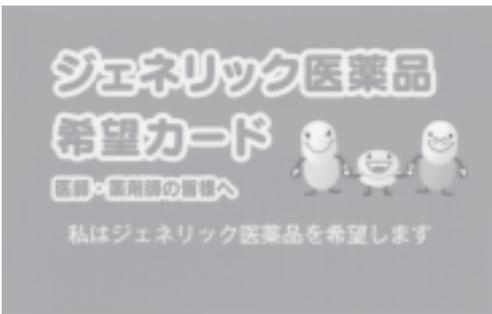
記すべきでは。

**答** 平成26年12月の実績で、ジェネリック医薬品の利用率は52%、節約効果は666万円あった。周知方法は、毎年の被保険者証更新時に、ジェネリック医薬品希望カード付パンフレットを送付している。ジェネリックにした場合の削減効果の明記は、各自自治体が進めているため検討する。

**地域包括ケアシステムの進捗状況は**

**問** 介護支援ボランティアのポイント制度を導入すべきでは。

**答** 介護支援をボランティアの高齢者が行うことは問題がある。今回の介護保険制度の改正の中で研究していく。



ジェネリック医薬品希望カードで医療費が安くなります

買い物弱者対策。町興し  
町がコーディネーターの商店、飲食店の誘致を



うえの なおのり  
上野尚徳 議員

**問** 店を始めた人、土地を活用したい人、貸店舗を建てられる人。町がコーディネーターで、効果的な店づくり環境を。

**答** 町内全体での商店や飲食店数は減少傾向。町がコーディネーターの役割を担い、誘致を効果的に推進していく。

**問** 金融機関と連携し、開業資金を低金利融資で。

**答** 優遇融資について、金融機関に働きかける。

**問** 早急な買い物弱者対策、金融機関不足対策を。

**答** 生活必需品は、身近で購入できるよう、県とも連携し、誘致を進める。

**問** 郵便局の誘致を。

**答** 各地域の拠点への誘致が望ましい。郵便局の誘致、ATMの設置に関し、地域ニーズの把握に

努め、検討する。

災害時の情報伝達向上を

**問** 聞き取りやすい防災行政無線等、町民への情報伝達向上の取り組みは。

**答** 防災行政無線、登録型の緊急情報メール、ホームページの他、町公式フェイスブックを活用。

今年1月、大規模災害時に、避難勧告等の情報に、町内にいる全ての人の携帯電話に緊急情報メールを送れるようにした。

救急車、消防車等の装備を含む消防力の維持向上

**問** 広域化で伊奈町の消防力は下がらないか。

**答** 消防力の維持を前提。中長期的には向上するよう協議を進めていく。



シティープロモーションに動画を活用を！  
大宮駅にある70インチのデジタルサイネージは効果的

小中学校のトイレのリニューアル・洋式化を



みずかみくにお  
水上邦雄 議員

**問** 必要性の認識は。

**答** 衛生面の対策も含め、トイレのリニューアル、洋式化、内装改修、施設環境改善の必要性は十分認識している。

**問** 改修費用は。

**答** 各小中学校とも便器の洋式化に加え、床面・

壁面及び給排水管等の改修が必要となるため、詳細な設計を実施しないと費用の算定ができない。

**問** 実施時期の見通しは。

**答** 現在、校舎の外壁改修工事や屋上防水改修工事などを実施している。今後の予定、財政状況を考慮し、順次トイレの改修工事を実施していく。

介護予防・生活支援サービスマニヤについて

**問** 本人家族の希望するサービスマニヤの提供を。

**答** 新しい総合事業に移行しても本人・家族の意向、希望を尊重する。

**問** 有資格者の育成と人材確保の見通しは。

**答** 有資格者でなくても多様なサービスマニヤが提供可能としているが、高齢者の特性の理解が必要とされている。



介護施設と桜

**問** 地域支援事業延期を。

**答** 新しい総合事業の実施に必要なサービスマニヤ提供体制の環境整備等に時間を要することから、29年4月1日を予定している。

地方創生「ひと・まち・しごとと法」と伊奈町



むらやままさひろ  
村山正弘 議員

県の動向に対応する。

**地方創生と町の位置づけ**  
問 まち・ひと・しごと

地方創生法が成立し、国の方針が示されたが町の受けとめはどうか。

**答** 国の方針は閣議決定されたが県の指針は27年度早期に決まる。

**創生法とまちづくり**

問 人口減・仕事・高齢化率解消を法の趣旨とする

**答** 伊奈町は「出生率向上」以外はあてはまらないと思う。



役場より本町小室を望む

町の計画は、全国の全自治体を取り組む総合戦略長期ビジョンに早期に研究検討すべきだ。

**答** 県の動向、人口動向調査などを踏まえて計画をたてる。

**問** 4月より実施される伊奈町総合振興計画は地方創生総合戦力になるかの見通しを問う。

**答** 県の指針を待っての新たな計画となる。

**問** 国・県の補助を受けての地域商品券事業は、消費事業の継続から複数年にすべきだ。

**答** 来年度以降の国・県の補助動向を見たい。

**問** 国・県の方針待ちではなく提案姿勢が必要だ。

**答** 情報収集、県との折衝など努力する。

会派による政務活動報告

政策サポーター制度等について

日時：平成27年1月15・16日  
視察地：長野県飯綱町福祉センター  
会派：新政21・みらい研伊奈・伊新の会

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

飯綱町議会は、町民政策サポーター制度を導入し、公募住民と議員が政策研究に取り組んでいる。住民と歩む議会の実践であり、監視機能・政策立

案機能を手法の1つとした画期的なものと言える。この制度を継続し「集落機能の強化と行政との協議」をテーマに実践。この実践とともに強調さ

れているのは、執行機関の監視とともに、住民・議会・行政による今後の飯綱町を考えるシンポジウムを開催し議論を巻き起こそうとしたことである。執行機関への提言は重要であるが、その説明責任を果たす機会が少なく、議会報告など今まで以上に住民に対する説明責任を果たすことと広聴機能の強化が課題であると考えられている。

特筆すべき取り組み

- 「女性の知恵と力で新しい町づくり」をテーマとして、女性を対象に開催。
- 議会だよりや議会活動全般についての議会広報モニター（57名）を始める。

当町においても、更なる議会改革を推進する必要性を感じ取って研修を終了。



飯綱町議会と活発な意見交換をしました